使用に関する警告

芯棒操作時に無理な力をかけない

取り付けが不安定になり、落下してけがをするおそれがあります。

禁止

タバコの火などを棚の上や本体に当てない 〈YH63BKS・BKM(棚材質:天然木)の場合〉

火災のおそれがあります。

商品に水や極度の湿気を与えない

ペーパー押さえ

芯棒

芯棒可動部

部材が反ったり腐食することにより、商品が脱落し、けがや重大事故につながるおそれがあります。

破損やガタツキが発生した場合は、ただちに使用を止め、取付工事店、販売店または TOTOメンテナンス(株)に連絡して、点検を受ける

商品が脱落し、転倒などにより、けがや重大事故につながるおそれがあります。

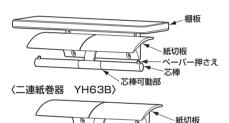
使用上のご注意

■ 直径120mm以下、幅114mm以下、芯の内径38mm以上の芯有りペーパーを使用する

芯なし(コアレス)ペーパーを使用すると、正しく使用できない場合があります。 ペーパー内側が芯棒可動部やペーパー押さえに巻きつくなど故障の原因になります。

部のなまえ

〈棚付二連紙巻器 YH63BKS、YH63BKM〉



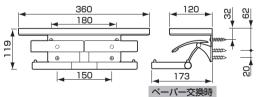
次の部品があることを確認してください。

,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
日本 日	YH63BKS	YH63BKM	ҮН6ЗВ	
紙巻器本体	1個	1個	1個	
棚板 (取付金具付き)	1枚 (天然木)	1枚 (天然木)	_	
壁取付ねじ (なべ頭タッピンねじφ4.5×40)	6本	6本	4本	

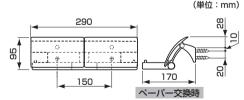
固定金具が必要な場合は、下記の品番を別途ご注文ください。

品番	形状		セット内訳	
T110D28	E arasa	φ6×30	樹脂プラグ/20個	

二連紙巻器 YH63BKS、YH63BKM>



〈二連紙巻器 YH63B〉



取り付け前の準備

⚠警告

- ■取付面には厚さ12mm以上の構造用合板(JAS規格品)または同等以上の強度のある下地材を使用する
- ■取付面がコンクリート下地の場合は、当社指定の固定金具【品番T110D28 樹脂プラグ20個入り(ø6×30、下穴ø6)】 を使用する

下図位置は参考例です。現場の状況に応じて適切な取付位置を決めてください。



木下地:タッピンねじ固定の場合

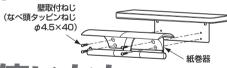
※二連紙巻器 (YH63B) の場合は棚板の固定はありません。

⚠警告

- ■取り付けには、付属の壁取付ねじ(なべ頭タッピン ねじ 04.5×40) を使用する
- 取り付けが不安定になり、落下してけがをするお それがあります。
- 事前に補強木を取り付ける。
- 注1
- 🔞 棚板を上部の穴に付属のタッピンねじ2本で固定する。 注2



4 紙巻器を付属のタッピンねじ4本で固定する。 注2



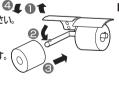
コンクリート下地:プラグ固定の場合

♠ 警告

- ■取付面がコンクリート下地の場合は、当社指定の 固定金具【品番T110D28 樹脂プラグ20個入り (φ6×30、下穴φ6)】を使用する 取り付けが不安定になり、落下してけがをするおそれがあります。
- 芯出しをしたあと、ø6mm深さ50mmの樹脂プラグ の下穴をあける。 注3
- 付別を下穴に軽く打ち込む。
- 棚板、紙巻器の順にタッピンねじで固定する。

- ■取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する 商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして 使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
- 注1: ϕ 3mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください ドリルの刃サイズが大きすぎたり、芯振れを起こすと確実な固定 ができないことがあります。
- 注2: タッピンねじを強く締めすぎて合板・補強木やタイルなどを破壊 しないように注意してください。
- 注3: ø6mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。 ドリルの刃サイズが大きすぎたり、芯振れを起こすと確実な固定 ができないことがあります。

- ■ペーパーのセット方法
- 紙切板を「カチッ」と音がするまで上げてください。
- 芯棒の端を手前に引いてください。
- ペーパーを差し込み、元の位置まで押し戻します。
- 紙切板を下げてセット完了です。



■ペーパーのカット方法

〈ワンハンドカット機能〉 ペーパーをつまみ、引き上げる だけでカットできます。

紙切板を押さえる必要はありません

※ペーパーの質や切り方により、切りにくい場合が あります。

通常のお手入れの仕方

●水または、ぬるま湯に浸した布をかたく絞ってから ふいてください。

汚れがひどいときのお手入れの仕方

適量に薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ったあと、 水ぶきし乾いた布などで水分をきれいにふき取ってください。

お手入れの際の注意事項

商品表面を傷つける以下のものは使用しないでください。

- ●酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
- ●シンナー、ベンジンなどの溶剤
- クレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤 サイロンたわし、ブラシなど

